

報 廣 山 市 館

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1.145番地の1 電話館山 1501~1507番

昭和37年 7月23日 第124号 (毎月1回発行)

6月の人口動態

総人口	57,602人
男	27,826人
女	29,777人
世帯数	14,379世帯
出生	52人
死亡	54人
転入	207人
転出	284人
世帯の転入	114世帯
世帯の転出	160世帯

市会議長に山本昇氏

副議長は脇田順一氏を選任

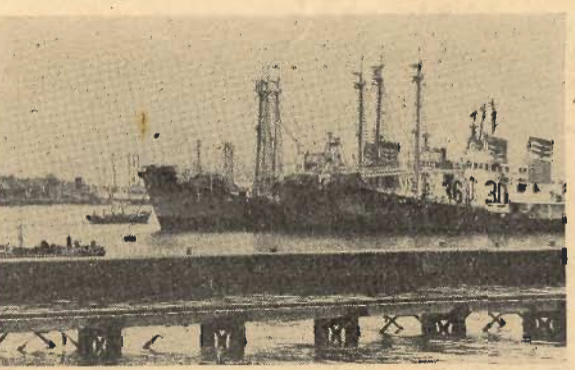


市会議長 山本昇
副議長 脇田順一
市議会選出監査委員 田中裕郎
県下八市競輪組合議員 山口幸三
総務委員会(七名) 遠山ヨネ子、○長谷川光江、吉田勇治郎、島本壮作、脇田順一、鈴木孝、松本藤太郎
経済委員会(十名) 安沢徳順、○吉田辰雄、山本昇、石井孝、三沢節、佐野信、法木剛郎、安西政治、田中忠誠、山口康
文教民生委員会(八名) 後藤ゆき、○北山茂雄、小林寅之助、嶋田繁、田中裕郎、飯田義雄、秋生田七郎、黒川佐太郎
建設委員会(八名)

会期二日間にあつて開かれた、六月の定例市議会で、市議会議長に山本昇氏、副議長に脇田順一氏を選任いたしました。……

市議会議長 山本昇
市議会副議長 脇田順一
市議会選出監査委員 田中裕郎
県下八市競輪組合議員 山口幸三
総務委員会(七名) 遠山ヨネ子、○長谷川光江、吉田勇治郎、島本壮作、脇田順一、鈴木孝、松本藤太郎
経済委員会(十名) 安沢徳順、○吉田辰雄、山本昇、石井孝、三沢節、佐野信、法木剛郎、安西政治、田中忠誠、山口康
文教民生委員会(八名) 後藤ゆき、○北山茂雄、小林寅之助、嶋田繁、田中裕郎、飯田義雄、秋生田七郎、黒川佐太郎
建設委員会(八名)

極洋捕鯨船団の



基地になつた館山港
遠洋漁業基地として久しい館山港が市の積極的その活用がのぞまれている。

山本昇氏、岩崎静敏、江田徳太郎、鈴木彦太郎、脇田順一、田中裕郎、山口幸三、飯田義雄、○三沢節、鈴木彦太郎、佐野信、吉田勇治郎、遠山ヨネ子、安西政治、松本藤太郎、○印は委員長、○印は副委員長です。

伝染病舎が完成

30ベット完備の近代設備
伝染病舎の近代化を前に、かねてから建設をしてきた伝染病舎が、このほど完成いたしました。場所は市内上真倉二、三、四九の一番地(館山病院内)に、工事費一千八百九十五万円(建築面積五百九十六平方メートル)、病室十一室、収容人員三十ベットの近代設備を備へた伝染病舎が完成いたしました。

山本昇
議長就任のご挨拶
御協力とご指導を仰いでおるのをごさいます。私共任期最後の仕事でもありますが、この一年でもありまして、はなはだ簡単ではございますが、議長就任のご挨拶といたしまして、市民のたいへんの明るい正しい議会を導くことに努めます。

市会の動き

六月に開かれた定例市議会は、議案十七件、報告六件、陳情一件(商店街の外灯設置についての補助金について)と、申し合せによる市議会議長、副議長及び各常任委員の改選を行いました。なお審議した主な議案は次の通りです。

市営住宅を建設する敷地として、大賀地先(蟹田川下流)の、地地及び原野八反七畝十歩を二百四十一万六千八百三十円で買収しようとするもので、

六月の定例市議会にて
土木工事用タンクパー
土木工事用タンクパー一、台を百五十万円で購入しようとするもので、購入した場合は、現在市条例で定められている、式タンクパー五トンの積

六月の定例市議会にて
消防団員等の公務災害補償条例の改正
消防団員等が公務のため死亡、負傷、疾病となつた場合、現在市条例で定められている、式タンクパー五トンの積

六月の定例市議会にて
農業経営の近代化をはかるための、生産施設などを整備するための融資資金を貸付ける融資機関に対し、市条例を定め、予算の範囲内でその利子補給をしようとするものです。

六月の定例市議会にて
館山ユース・ホステル条例の制定
県から管理運営を委託された「館山ユース・ホステル」について、その使用料など必要な事項を定めたものです。

六月の定例市議会にて
住民登録の届出は十四日以内
この法律は昭和二十七年七月に施行され、この七月でちょうど十年目になりました。

六月の定例市議会にて
市消防団長に佐野信氏選任
故川名消防団長の後任を決める本部議長及び分団長

六月の定例市議会にて
教育委員に半沢良一氏
六月十九日急逝された教育委員(川名浩先生)の後任委員として、半沢良一氏(北条六八番地)が、市議会の同意を経て選任されました。

六月の定例市議会にて
市消防団長に佐野信氏選任
故川名消防団長の後任を決める本部議長及び分団長

商工まつり行事

5日から3日間
毎年行なわれる商工まつりが、今年も8月5日から7日まで、次のように全山にわたつてくりひろげられます。

6月19日急逝された教育委員(川名浩先生)の後任委員として、半沢良一氏(北条六八番地)が、市議会の同意を経て選任されました。

市消防団長に佐野信氏選任
故川名消防団長の後任を決める本部議長及び分団長

夏季講座

二 中講堂
毎年好評をいただいていた「安房夏季講座」が、今年も次のように開かれます。

山から九重に住所を移した方
変更届出世帯主が転出後、死亡などで変つた場合、その結果、副団長であつた佐野信(布池)氏が、消防団長に選任されました。

山から九重に住所を移した方
変更届出世帯主が転出後、死亡などで変つた場合、その結果、副団長であつた佐野信(布池)氏が、消防団長に選任されました。

昭和36年度一般会計歳入歳出決算状況

単位千円

歳 出			歳 入		
1教育費	89,548	97.8	1市 税	167,995	
2市役所費	85,659	97.9	2地方交付税	104,395	
3社 労 費	75,510	96.7	3国県支出金	59,309	
4土 木 費	37,633	92.5	4市 債	23,300	
5消 防 費	35,039	86.3	5繰 越 金	29,510	
6産業経済費	30,806	96.6	6公営企業 及財産収入	19,090	
7保健衛生費	28,354	91.0	7使用料及 手数料	17,048	
8公 債 費	14,990	99.9	8寄 附 金	14,516	
9議 会 費	13,463	99.2	9その他	12,718	
10その他	20,534	78.3			
合計	431,536	執行率 94.9%	収入額	447,881	1億 2位
		支出額 409,484	予算額	431,536	
			調定額	462,728	
			調定歩合	96.8	(調定額)
			予算歩合	103.8	(予算額)
					(収入額)

839人
376世帯
1.71平方町

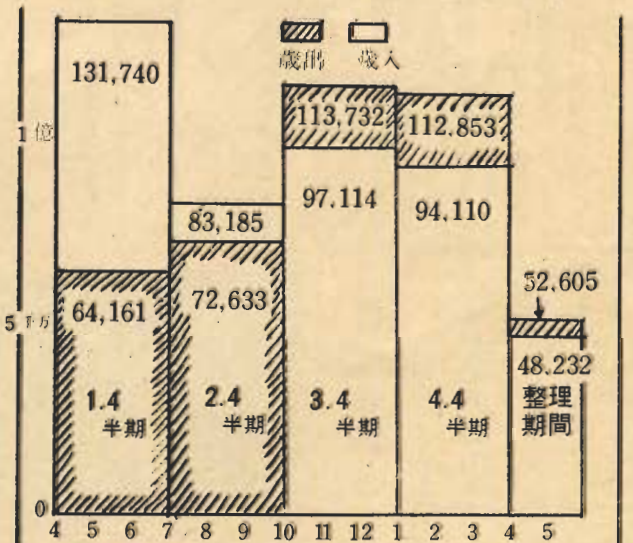
昭和36年度 市税の収納状況等

科 目	収入額	人口 1人当り	一世帯 当り	4煙草消費税	22,642	392	1,575
1市民税	36,570	632	2,544	5電気ガス税	13,842	239	963
2固定資産税	86,636	1,498	6,026	6その他	4,808	83	335
3軽自動車税	3,497	61	243	合計	167,995	2,905	11,686

性質別歳出内訳

科 目	決算額千円	構成比
1人件費	155,597	49.2
2物件費	45,284	14.4
3維持補修費	11,912	4.2
4扶助費・補助費	60,958	6.9
5建設事業費	115,261	18.0
6公債費	14,979	5.4
7その他	5,493	1.9
計	409,484	100.0

税の負担状況

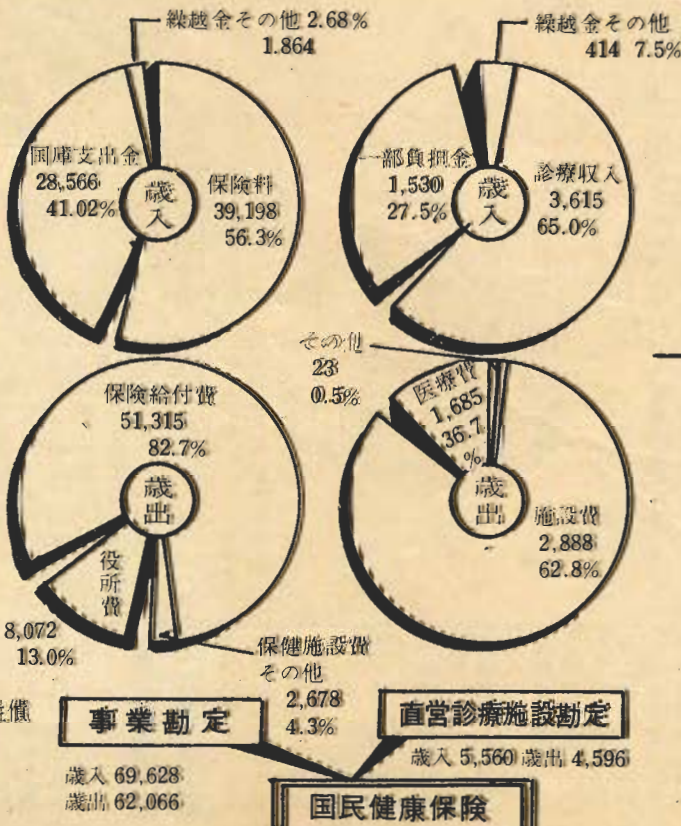


昭和36年度 特別会計

単位千円

歳出 差引

31	409,484	38,397
72	95,714	9,258
88	66,662	8,526
45	721	524
68	3,968	0
31	23,881	0
90	482	208
53	505,198	47,655



休養施設鳩山荘

歳 入	歳 出
1直接収入 9,684	人件費 2,111
2繰入金 3,102	地方債利子 964
3その他 591	その他 7,152
4地方債 9,000	普通建設費 12,970
5繰越金 1,504	地方債元金 684
計 23,881	計 23,881

と畜場



公益質屋

歳 入	歳 出
経営収入 3,011	人件費 1,104
繰入金 928	貸付金 2,240
その他 29	元利償還金 344
	その他 280
計 3,968	計 3,968

歳出

40,820	教育債
39,526	庁舎建設債
27,807	特別会計
20,501	土木債
13,969	消防債
10,087	災害復旧債
4,312	社労債
3,500	保健衛生債

単位千円

館山市告示第35号

単位千円 昭和37年度一般会計歳入歳出予算

36.5	176,328	1市税	21.4	103,229	1教育費
22.6	109,000	2地方交付税	18.1	87,364	2市役所費
14.1	68,266	3国庫支出金	15.6	75,214	3社労費
9.3	45,000	4市債	14.7	71,196	4保健衛生費
4.4	21,150	5繰越金	8.5	41,001	5消防費
3.0	17,786	6使用料及手数料	7.4	35,836	6土木費
2.9	14,451	7公営企業及貯蓄収入	4.8	23,158	7産業経済費
3.7	14,067	8寄附金	3.2	15,431	8公債費
3.5	17,039	9その他	2.8	13,710	9議会費
			3.5	16,948	10その他
1.8億	1億				
構成比 100% 予算額 483,087			構成比 100% 予算額 483,087		

人口 57,000
世帯数 14,000
面積 10.31 平方キロメートル
昭和37.5.31現在

市長始め職員一同は住みよい館山市にするために色々な仕事をしています。市のふところ具合を年2回皆様にお知らせ致します。今回は昭和36年度決算(36.4.1~37.3.31)と昭和37年度当初予算のあらましについてお知らせ致します。(地方自治法(S22法律第67号)第244条の規定による)

三 大 事 業

3 消防庁舎建設事業
事業費 11,000 千円
イ本館一階 176.5 m²
二階 229.5 m²
その他 98.5 m²
ロ車庫・望楼 190 m²

2 し尿処理場新設事業
事業費 55,420 千円

1 館山高校埋立等整備事業
事業費 18,480 千円

性質別歳出内訳 単位千円

料 目	昭37当初予算A	構成比%	昭36当初予算B	A - B
1人件費	166,640	34.5	147,006	19,634
2物件費	55,433	11.5	49,626	5,807
3維持補修費	11,336	2.3	13,585	△ 2,249
4扶助費補助費	61,799	12.8	57,133	4,666
5建設事業費	167,682	34.7	109,234	58,448
6公債費	15,431	3.2	14,023	1,408
7その他	4,766	1.0	2,289	2,477
計	483,087	100.0	392,896	90,191

昭和36年度 決算状況

会計区分	歳入	歳出
1一般会計	447,300	447,300
2特別会計	104,000	104,000
国民健康保険	75,000	75,000
と畜場	1,000	1,000
公益質屋	3,000	3,000
公共施設	23,000	23,000
簡易水道	0	0
合計	552,300	552,300

休養施設会計

歳入	歳出
1事業収入 15,657	1経 営 費 14,002
2その他 778	2公 債 費 2,233
計 16,435	3そ の 他 200
	計 16,435

主なる工事 浴室ボイラー取付・造園工事・井戸拡張工事
下水道工事・応接室改造工事

国民健康保険会計

一 事業勘定	
1国民健康保険料 43,636	1役 所 費 8,887
2国庫支出金 31,128	2保 険 給 付 費 61,402
3その他 172	3保 険 施 設 費 1,279
計 74,936	4趣 旨 普 及 費 1,753
	5そ の 他 1,615
	計 74,936

二 直営診療施設勘定	
1診療収入 3,592	1施 設 費 5,169
2一部負担金 1,781	2そ の 他 215
3その他 11	計 5,384
計 5,384	合計 80,320

一 国保が守る、家庭の平和

波左間及び加賀名地区簡易水道会計

歳入	歳出
1水道使用料 442	1物 件 費 30
2その他 71	2維 持 管 理 費 183
計 513	3公 債 費 257
	4そ の 他 43
	計 513

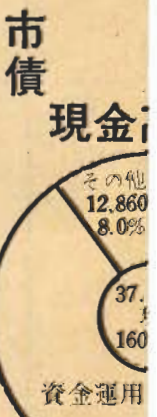
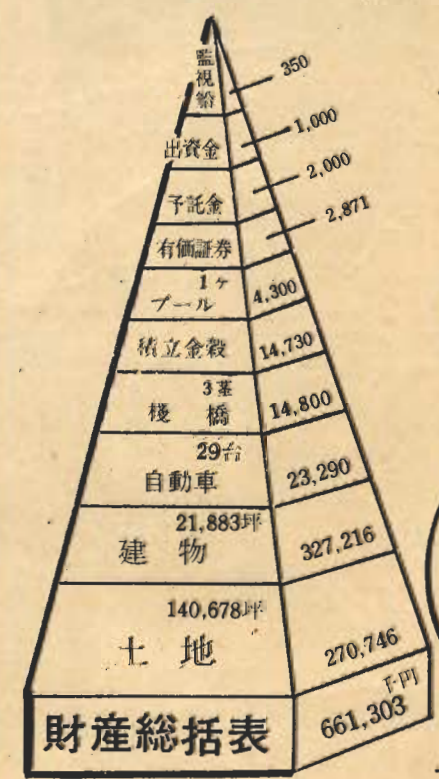
と畜場会計

歳入	歳出
1事業収入 900	1人 件 費 266
2市 債 3,000	2物 件 費 178
3その他 200	3投 資 的 経 費 3,348
計 4,100	4そ の 他 308
	計 4,100

電気冷凍施設新設工事・汚物焼却炉新設工事

公益質屋会計

歳入	歳出
1事業収入 4,604	1人 件 費 990
2その他 53	2物 件 費 325
計 4,657	3投 資 的 経 費 2,750
	4公 債 費 254
	5そ の 他 338
	計 4,657



館山市の台所

